

アシナガカニグモ *Heriaeus mellottei* Simon

【選定理由】

山地から記録されているが、  
個体数は少なく局地的である。  
道路工事や開発等にもなう生  
息域の縮小、個体数の減少が心  
配される。

【形態】

体長雌 6～7mm、雄 5～6mm。  
全体に黄緑色で、頭胸部・腹部・  
歩脚は多数の長く太い毛でおお  
われている。



豊田市西広瀬町, 2008年5月24日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

小牧市、岡崎市、豊田市（旧豊田市・旧足  
助町）、新城市（旧新城市・旧風来町）等に分  
布する。

国内では本州、四国、九州に分布する（新  
海ほか, 2018）。

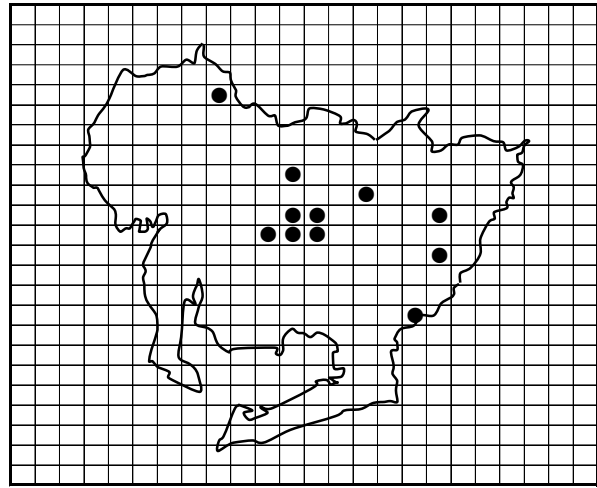
【生息地の環境／生態的特性】

山地の草原に生息し、葉上に静止し目前に  
近づいた小昆虫を捕食する。

【現在の生息状況／減少の要因】

主に、山間部の草原を生息域としている。  
豊田市加茂町では2004年5～6月にかけて最大  
40頭近い個体が記録されたが、このような事  
は稀で、普段は数頭である。6月下旬ごろに  
雌が卵のうを保護しているのが観察されるが、  
生態などは不明な点が多い。

県内分布図



【保全上の留意点】

生息地での道路工事や宅地等の開発は極力避け、除草剤・農薬等の散布に際しては、十分な配慮  
が必要である。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. p.139,267. 偕成社, 東京.  
八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. p.55,208. 保育社, 大阪.  
新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.163. 文一総合出版, 東京.  
小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, pp.525,636. 東海大学出版会, 神奈川.  
小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.353,563. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)